

【参考資料1】 (当日配布資料)

「地域に貢献する日本栄養士会 JDA-DAT」

公益社団法人 日本栄養士会 常務理事  
下浦佳之

災害は被災地の住民の健康に大きな影響を及ぼす。2011年に発生した東日本大震災により、被災者に対する栄養と食の支援においてさまざまな課題が浮き彫りとなった。日本栄養士会(以下、「本会」という)としてそれらの課題を整理し、平時及び災害時の栄養と食の支援活動・対策にこの教訓を生かしていく必要があると考えている。

そこで、本会は「災害発生地域において栄養に関する支援活動ができる専門的トレーニングを受けた栄養支援チーム」として、世界に先駆けて日本栄養士会災害派遣支援チーム The Japan Dietetic Association - Disaster Assistance Team の頭文字をとって略して JDA-DAT (ダイダット) を設置した。

災害支援管理栄養士等2~3名と被災地管理栄養士等1名で構成され、国内外で大規模災害が発生した地域において、避難所、施設、自宅、仮設住宅等で被災者(特に要配慮者)に対する栄養に関する支援活動ができる専門的なトレーニングを受けた栄養支援チームである。

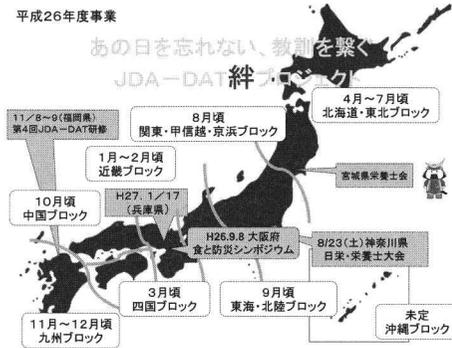
今回のパネルディスカッションでは、本会の災害派遣管理栄養士・栄養士の活動実績として、東日本大震災の発災後、災害派遣管理栄養士・栄養士を全国から募集し、被災地へ派遣し、様々な栄養と食に関する支援活動を行ったこと。2. 派遣により見えてきた主な課題とその対応に何が必要なのかということ。3. JDA-DAT の概要として、急性期(概ね72時間以内)にすばやく活動でき、専門的能力をもち

(トレーニングを受けた)、栄養に関してはもちろん、状況に応じ、緊急を要する支援を行うことができるメンバーで構成され、日本国内だけでなく必要があれば海外にむけた支援もできることを目指していること。

平成23年度より10カ年計画で、本会において毎年100名のJDA-DATリーダーを養成するとともに、各都道府県では養成されたリーダー等が中心となりスタッフの育成を積極的に進め、1,000チーム、総勢約5,000名の体制の整備・推進を図っていること。4. 現在も東北での復興支援において活動を続け、災害時だけでなく平時においても地域と連携し、自助・共助・公助等、防災意識の醸成を図るために地域活動を行っていること等を中心にお話させていただく。

いつ発生するか予測し難いものの、一旦発生すれば広範な地域で国民に甚大な健康被害をもたらす災害に際し、本会は、被災者支援のために、管理栄養士・栄養士の専門性を生かして適切に活動することが国民に対する責務と考えている。そこで、関係機関・団体と連携し、協力を仰ぐとともに、知識・経験と技術、使命感を持った管理栄養士・栄養士を育成し、災害時の栄養と食の支援に向けた適切な体制の構築・整備を全国の栄養士会と共に図り、今後の災害等発生時に備える。また、平時においても専門性を生かし、地域住民(自助)への支援、地域や施設間(共助)との連携、行政栄養士(公助)との協働等により防災・減災へ取り組みを推進し、地域に貢献する。

(パネルディスカッション スライドより)



参考資料 2

(相愛大学発達栄養学科作成 当日配布資料)

### 炊き出し衛生マニュアル

～あと片づけ・ゴミ出し・帰ってから～

【はじめに】  
災害時における管理栄養士の役割として、「食事支援」が挙げられます。献立作成や衛生管理などの炊き出し支援です。そこで炊き出しの衛生管理としてあと片づけ・ゴミ出し・帰ってからすべきことについて紹介します。

**Plan：炊き出しの準備**

●ゴミ袋を段ボール箱に入れて運ぶと破れにくくて安心

●排水設備が整っていないとき、器具類は洗浄しないでそのまま持ち帰ります。

**2. 害虫を発生させない**

●残飯などが雑溝や水たまりなどに流れ込んでいたら除去、清掃します。現地のゴミ処理や、排水処理のルートに準じます。

**3. 帰ってから**

●持ち帰った器具類を洗浄、消毒する。身だしなみ、体調管理、手洗いができたか自己評価し、次回の炊き出しに向けて、改善できる箇所を記録しておきましょう。

炊き出し 衛生マニュアル 一般社団法人 日本家政学会 編より引用

### 炊き出し時のPDCAサイクル

**Plan：炊き出しの準備**

- 炊き出し場所の確認**  
場所は〇〇小学校の校庭などで、現地の自治体や中心団体の指示に従いましょう。
- 炊き出し用器具の確認**  
手洗い・調理・設営・運搬・保管などそれぞれに必要な持ち物を確認しましょう。
- 炊き出し時の役割の確認**  
食材の調達・器具の調達・調理担当・配給担当など誰がどのような役割を担うのか事前に確認しましょう。
- 炊き出し時衛生管理の注意**  
調理については可能な限り加熱しましょう。また、手袋やアルコールスプレー、ペーパータオルなどを使用しましょう。

**Do：炊き出しの実施**

Planに従い、炊き出しを実施しましょう！！

相愛大学 総合研究センター後援

唐衣裳装束の着装を通して  
平安時代の文化を探る

子ども発達学科の「文化と社会」の授業の一部として、本学所蔵の唐衣裳装束の着装を通して平安時代の文化を探る授業を行っている。今年度も相愛大学 総合研究センターの後援を受け、本科目受講学生だけでなく、全学部に開放した体験授業を行ったので、その概要を報告する。

#### 1. 開催日時

平成 26 年 12 月 13 日(土)13 時 20 分～15 時

#### 2. 開催場所

相愛大学南港学舎 5-402 教室

#### 3. 参加者

「文化と社会」受講学生 25 名

その他学生 5 名

#### 4. 内容

本授業の事前に、平安時代の時代背景や文化を知る授業を行い、本授業の受講学生をモデルとして、堀口洋子・木村吉美両氏による唐衣裳装束の着装を見学しながら、川中が装束並びにそれらを着装していた人々の美意識や生活などについて解説を行った。

その後、装束を体感する時間を設けると女子学生だけでなく男子学生らが装束に袖を通し、その重さを実感した。言葉や文字で知るだけでなく、実際の重さを体感するなど有意義な授業となった。



小袖・長袴に単を着る



裳をつける



裳を引いて歩く姿



空 蝉